



1976年 厳原町小茂田



対馬暖流沿岸の海と人！ ふるさと対馬を撮る！

写真展

自 2026年5月11日（月）
至 2026年7月10日（金）
（開場時間 10時～17時）
（休館日 土・日・祝日）

場所 九州大学伊都キャンパス
フジギャラリー

主催 九州大学大学院工学研究院
環境社会部門生態工学研究室
（准教授 清野聡子）

写真展 ふるさと対馬を撮る！
①昭和の真ん中頃の対馬
②文禄慶長の役&朝鮮通信使

入場無料

仁位孝雄写真展 & 講演会

講演会

日時 2026年6月13日（土）
14時～16時30分

場所 福岡アジア美術館
あじびホール（8階）

主催 仁位孝雄（長崎県美術協会名誉会員）

共催 九州大学大学院工学研究院
環境社会部門生態工学研究室
（准教授 清野聡子）

講師 仁位孝雄（長崎県美術協会名誉会員）

テーマ ① 対馬こぼれ話
② 文禄慶長の役&朝鮮通信使

講師 清野聡子（九州大学大学院准教授・
九州大学韓国研究センター 副センター長）

テーマ ① 対馬の海や地域の変遷



1978年 美津島の大船越



1977年 厳原町椎根

後援（順不同） 駐福岡大韓民国総領事館

九州大学韓国研究センター 対馬市

福岡対馬会 在日大韓国民団福岡県地方本部

長崎県美術協会 NPO法人長崎市美術振興会

在日大韓国民団長崎県地方本部

長崎県日韓親善協会

連絡先 仁位孝雄

☎ 090-7156-8399

対馬暖流沿岸の海と人！～ふるさと対馬を撮る！～仁位孝雄写真展&講演会「ご案内」

このたび、九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室（准教授 清野聡子先生）のご依頼により、九州大学伊都キャンパス・フジイギャラリーで次の内容で写真展を開催いたします。

1. 昭和の真ん中頃の写真（イカのカーテン、対州馬、石屋根、藻刈船、藻小屋、亀トなどの写真）
2. 文禄慶長の役&朝鮮通信使（韓国・昌徳宮、清水山城址、加藤清正肖像画、金石城址、福岡警固香正寺の日延上人木像、龍野藩主の対州道中絵巻、万松院などの写真：朝鮮通信使展は今回40回展となります。）

また、6月13日（土）14時～16時30分 福岡アジア美術館・あじびホール8階で講演会を開催致します。

講演会・講師 テーマ・仁位孝雄 ① 対馬のこぼればなし ② 文禄慶長の役&朝鮮通信使

・講師 テーマ・清野聡子先生 ① 対馬の海や地域の変遷 長崎県美術協会名誉会員 仁位孝雄



1811年対馬來島の副使



1976年上対馬町芦見

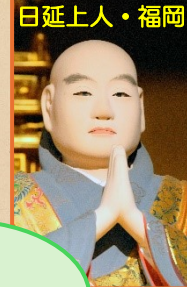


1978年上県町志多留



1980年美津島町赤島

1811年日本代表副使龍野藩主対馬へ「対州道中絵巻」龍野歴史文化資料館蔵



日延上人・福岡

入場無料

写真展によせて！

仁位孝雄氏の写真には、まさに対馬島と対馬海という、海洋学的、地理学的、文化的に稀有な地と海の全てが込められています。特に、漁業資源が豊富であった時代の漁村や人々の暮らしは、伝説的でありながら文書にもほとんど残されていない状況でした。この作品群は美術として、そして研究資料としても重要です。専門や関心時によって細部までを多角的に深く見出すことができます。

このたび、主催・共催させていただけること大変光栄に存じております。

清野聡子

「対馬今昔—暖流と季節風との暮らし」展

国境の島の対馬を中心に、対馬暖流と季節風が織りなすダイナミックな自然と共生してきた暮らしの変遷を紹介します。また、海流の変化や海水温の変化、海ごみ調査、海洋生物、地質など、独自の風土を持つ対馬を「海」という切り口で掘り下げ、自然共生社会の在り方を考えます。

- ・会期 2026年5月11日（月）～7月10日（金）
（開場時間 10時～17時 休館日 土・日・祝日）
- ・場所 九州大学伊都キャンパス・フジイギャラリー
- ・主催 九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室
清野聡子
（九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室 准教授
九州大学韓国研究センター 副センター長）



美津島町東海岸（空撮）



豊玉町西海岸（くじか浜）

